

日本環境管理学会大会プログラム

日時：2024年11月27日（水）午後（13時開始）  
（ビルメンテナンス会館の会議室を本拠地としたリモート開催）

(1) 開会の辞：三橋会長

(2) 特別講演（13時05分-14時05分）

仮題：水素利活用への取り組み（清水建設株式会社）

(3) 研究発表会（14時20分-17時25分、発表10分・質疑5分）

①セッション1（現場の声2件、委員会報告1件、一般発表4件）（司会：湯淺、杉田）

01 1415 安藤秀徳（東京美装興業）

ビルメンテナンス会社は、デジタル時代、スマートシティなどに向け新しい価値を  
創出しイノベーション、改革するには

02 1430 山崎克洋（ジェイアール西日本ビルト）

JR西日本グループにおける鉄道建築物の検査の在り方 その1

03 1445 永峯 章（東洋大学）

建築と設備の不完全性事例研究小委員会研究報告 2024

04 1500 橋本 治（日本大学）

プラ新法による東京23区におけるごみ質変化と発電への影響に関する研究

05 1515 三田村輝章（前橋工科大学）

版築バイオトイレの室内環境に関する実測調査

—木造トイレ・仮設トイレとの冬期から夏期における実測結果の比較—

06 1530 垂水弘夫（金沢工業大学）

放射空調オフィスにおけるドライミスト利用クールスポットの設置効果に関する研究

ドライミスト及び気流の同時付与と体表面冷却ツールによる初期温冷感復帰時間の短縮効果

07 1545 鈴木優誠（全国ビルメンテナンス協会）

脱炭素社会の実現に向けた省エネルギービジネスの成功事例～成果報酬契約～

②セッション2（若手発表5件）（司会：湯淺、三田村）

08 1610 江原信一（前橋工科大学）

住宅におけるダンプネスの評価方法に関する研究

—結露に関するダンプネスの程度の評点算出の検討—

09 1625 木村秀斗（前橋工科大学）

集合住宅におけるダイナミックインシュレーション窓による断熱改修に関する研究

—群馬県前橋市内の公営住宅を対象とした現場実測による性能評価（その2）—

10 1640 佐藤 駿（東京科学大学）

スマートタウンにおける燃料電池CGSの共有シミュレーション

11 1655 野村颯太（前橋工科大学）

蓄電池・電気自動車を連携させた ZEH 住宅の性能評価

第3報 数値シミュレーションを用いた居住者の世帯構成と住宅規模の違いによる影響の検討

12 1710 伊藤永里子（東京科学大学）

東京都 23 区の地域熱供給における生ごみバイオガス化設備の導入

(4) 閉会の辞：湯浅学術委員長